

### 第3期岩倉市地域福祉計画 令和6年度進捗評価シート

基本目標	1 市民の参画による支え合いの地域(まち)づくり
施策	(1) 支え合いの意識づくり

#### <現状と課題>

・令和3年度に実施した地域福祉に関するアンケート調査結果をみると、地域活動について、全体では「参加している」「よく参加している」「ある程度参加している」の合算が19.9%、「参加していない」「あまり参加していない」「ほとんどしくはまったく参加していない」の合算が76.7%となっており、市民の地域福祉活動は活発とは言えません。

・このような状況に対し、地域福祉の必要性や「地域共生社会」の重要性、地域組織等の役割について、より多くの市民に理解してもらい、地域福祉活動に参加・参画してもらうための情報発信や啓発の工夫が必要です。

・子どもたちへの福祉教育や、地域福祉等に興味・関心がある人向けの学習機会の提供、そして無関心層に対しても、地域福祉の重要性を理解してもらえるような啓発を行っていく必要があります。

成果指標	現状値	実績値						目標値	実績値に対する分析	指標数値根拠 担当	
	R3	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11			
地域活動に「よく参加している」「ある程度参加している」市民の割合	19.9%	-	-						40.0%	第3期地域福祉計画策定に合わせて実施したアンケート指標のため実績なし。次回は計画見直しのR8年度実施予定。	市民アンケート 福祉課

#### 単位施策:01 福祉教育の充実

・各福祉施設や小中学校等において、多世代による交流や体験活動等の機会を提供します。また、認知症サポーター養成講座を開催し、地域で認知症の人を見守り、支える環境づくりを促進します。

成果指標	現状値	実績値						目標値	実績値に対する分析	担当	
	R3	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11			
多世代交流又は当事者団体との交流に関わる新たな事業の実施	未実施	未実施	未実施						実施	例年実施している多世代交流に関する事業は実施したが、新たな事業の実施はできなかった。	長寿介護課

事業	取組内容及び成果	課題及び今後の方向性
●多世代交流事業	長寿介護課 多世代交流事業として、さくらの家でのバルーン教室や五条川河畔をウォーキングするふれあい歩け歩け大会を実施。高齢者や子どもとその保護者などが参加し、多世代交流の促進を図った。	参加者が、高齢者世代に比べ、その他の世代が少ない。令和7年度からさくらの家の管理運営が指定管理者となるため、民間企業のノウハウを活用し、一層の多世代交流の促進を図っていく。
●認知症サポーター養成講座の開催	長寿介護課 いわくら認知症ケアアドバイザー会と連携し、小学校や介護事業所などで認知症サポーター養成講座を5回開催し、197人の参加があった。児童から大人まで多くのサポーターを養成し、認知症に対する	新たな認知症サポーターを養成するため、いわくら認知症ケアアドバイザー会と連携し、引き続き養成講座を実施していく。

		正しい知識や接し方などの理解の促進を図った。	
●福祉実践教室	社会福祉協議会	市内小中学校の児童・生徒を対象に、社会福祉への理解と関心を高め、ボランティアや社会連帯の精神を養うことを目的に実施。手話や要約筆記、車いすなどの科目に市内7小中学校で698人の児童・生徒が参加した。	体験中心にならないよう、当事者の講話から自分事として学べるようなプログラムの作成・提案をする。
●その他			

### 単位施策:02 福祉に関する情報発信や啓発イベント等の開催

・地域福祉計画推進フォーラムや福祉フェスティバルといったイベントの開催や広報紙やホームページ、社協だより等の配布を通じ、市民の福祉への関心を高めるとともに、「地域共生社会」の重要性を発信します。また、近年の市民生活における ICT 利用の普及を踏まえ、SNS などの新たな情報発信ツール活用の検討を進め、順次、導入します。

成果指標	現状値	実績値						目標値	実績値に対する分析	担当
	R3	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11		
地域福祉に関する啓発イベントや講座等の開催回数	1回	3回	3回					5回	福祉フェスティバルにて、「いろいろなつながり」をテーマに地域の現状や地域福祉活動の紹介を幅広い市民に対して情報発信することができた	福祉課 社会福祉協議会

事業		取組内容及び成果	課題及び今後の方向性
●地域福祉計画推進フォーラム	福祉課、社会福祉協議会	地域づくり講演会として「つなぐ・つながる・つなげる地域づくり」を開催し、62人が参加し、地域づくりでのつながりの重要性を学んだ。	地域づくりの重要性をより広く、より多くの関係者にどう伝えるかが重要になる。
●福祉フェスティバル	社会福祉協議会	地域福祉推進啓発コーナーとして「こ」とつながる」についてパネル展示で紹介した。2日間で890人が参加した。	広く地域住民に啓発できる機会として、関心を高める企画を検討する。
●スポーツフェスティバル・夢コンサート	社会福祉協議会	障害者が多様なスポーツ、音楽に触れる機会をつくり、スポーツフェスティバルは参加者28人ボランティア67人の参加があり、夢コンサートは参加者44人ボランティア32人の参加し、地域住民の障害理解を促進した。	イベント時だけでなく、日常的にスポーツや音楽に触れる機会の創出を意識した企画内容を検討する。
●広報紙等による情報発信	福祉課、長寿介護課、こども家庭課、社会福祉協議会	障害者週間等の福祉に関する週間行事、社会を明るくする運動映画上映会、児童館や子育て支援センターの事業等を広報紙に掲載し情報発信した。また、地域つながり講演会等の周知では市公式LINEやフェイスブックを活用し情報発信を行った。	引き続き、各種情報発信ツールを活用して福祉に関する情報発信に努める。

		また、令和6年度から子育て情報アプリを活用し積極的に情報発信を行った。	
●その他		<p>社会を明るくする運動街頭啓発、ミニ集会を実施するなど更生保護に関する関心を高める取組を行った。</p> <p>認知症に関する映画上映会の開催や認知症勉強会及び声かけ訓練を実施し、認知症に対し関心を高める取組を行った。</p>	<p>認知症の高齢者やひとり暮らし高齢者など支援を必要とする高齢者は増えていくと予想されるため、市民の認知症や福祉への関心が高まるよう情報発信や事業の開催に努めていく。</p>

**単位施策:03 市民への学習機会の提供**

・市民や団体、企業等に対し、子どもや高齢者、障がい者、地域福祉、その他福祉に関する内容をテーマとした出前講座を実施します。活発に利用してもらえるよう、情報発信を行います。

成果指標	現状値	実績値						目標値	実績値に対する分析	担当
	R3	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11		
福祉に関する岩倉まちづくり出前講座実施回数	0回	2回	10回					5回	令和6年度は介護保険制度、防災、重層的支援体制等の出前講座を実施した。市民の福祉への関心が高まっているものと推測される。	福祉課 長寿介護課 こども家庭課

事業		取組内容及び成果	課題及び今後の方向性
●岩倉まちづくり出前講座	秘書人事課、関係課	出前講座のメニューが増えたことにより、出前講座の実施回数が増えた。(介護保険制度(在宅医療・介護サポートセンターを含む)3回、防犯1回、防災5回、重層的支援1回)	令和7年度についても既に申込みを受け付けており、福祉に関するテーマは今後も市民の関心のあるテーマであると考えている。また、時代に合わせてテーマを見直しつつ継続していく
●その他			

<b>事務局評価</b>	取組 3	指標 II	評価 C	<b>評価理由</b>	SNSを活用した情報発信やまちづくり出前講座の実施内容に工夫が見られ、出前講座の実施回数が増えたが、既存事業の実施内容は、コロナ禍以前の内容で再開したに止まり支え合いの意識づくりを醸成するために十分とは言い難い。
--------------	---------	----------	---------	-------------	--

<b>推進委員評価</b>	C			<b>推進委員評価 判断理由・コメント</b>	出前講座の実施回数が増えているが、多世代交流に関わる新たな事業は実施できていない。今年度からさくらの家が指定管理されたことにより多世代交流に力を入れることになっていることから、新しい事業の実施につなげてほしい。
---------------	---	--	--	-----------------------------	---